

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成22年1月26日

【事業年度】 第8期（自平成20年10月1日至平成21年9月30日）

【会社名】 株式会社エスケーエレクトロニクス

【英訳名】 SK-Electronics CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野上良忠

【本店の所在の場所】 京都市上京区東堀川通り一条上ル竪富田町436番地の2

【電話番号】 (075)441-2333(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部担当 藤原英博

【最寄りの連絡場所】 京都市上京区東堀川通り一条上ル竪富田町436番地の2

【電話番号】 (075)441-2333(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部担当 藤原英博

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年12月18日に提出いたしました第8期（自平成20年10月1日至平成21年9月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

(訂正前)

### 7 【財政状態及び経営成績の分析】

1～2 <省略>

(訂正後)

### 7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1～2 <省略>

#### 3 キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、15億63百万円（前年同期比30億4百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失19億21百万円（前連結会計年度は税金等調整前当期純利益7億49百万円）や減価償却費55億45百万円（前年同期比28億79百万円増）、売上債権の増加43億72百万円（前年同期比50億60百万円増）、仕入債務の増加17億90百万円（前年同期比21億92百万円増）によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、84億79百万円（前年同期比39億45百万円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出84億72百万円（前年同期比42億81百万円増）によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果増加した資金は、72億72百万円（前年同期比66億69百万円増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入104億円（前年同期比78億円増）や長期借入金金の返済による支出25億88百万円（前年同期比9億9百万円増）によるものであります。